

1 図書館運営について

■池田市図書館運営方針

池田市図書館では、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年文科省告示）に基づき、また、平成30年の図書館協議会による「池田市立図書館の管理運営のあり方について」の答申を踏まえ、図書館の機能と役割、運営の方向性について策定しました。近年の情報化、少子高齢化、国際化等の社会状況の変化に適応し、より充実した図書館サービスをめざします。

- 1 多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進します。
- 2 社会の変化と市民のニーズに対応した情報を発信し、地域住民の課題解決に役立つ図書館づくりをめざします。
- 3 子どもの豊かな「学び」を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子どもの読書活動を推進します。
- 4 図書館ボランティアとの協力関係を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供します。
- 5 安心・安全な読書ができる環境を整備するとともに、図書館利用が困難な市民へのサービス拡充を図り、誰にでもやさしい図書館をめざします。

■令和4年度事業報告



4月1日より、貸出上限冊数を8冊から10冊に増やしました。また、管理面においては年度当初にICゲートに加え、池田・石橋の両館で予約棚や自動返却機のセルフサービスを開始し、蔵書管理から利用サービスに至るまでコンピュータで管理し、市民の図書館サービスの拡充に努めました。

池田では、昨年度末に更新した移動図書館車での巡回が始まりました。常設のステーションに加え幼稚園にも不定期巡回し、園児への絵本の貸出しを開始しました。また、新たな試みとして巡回時に野外おはなし会を実施し、楽しそうな親子連れの参加が見られました。



館内の郷土コーナーには、新たに展示スペースを設置し、郷土池田に関連する資料展示を行い、市民が、郷土池田の歴史や文化に興味・関心を育むことができるよう努めました。



石橋図書館は、4月に旧石橋プラザより複合施設「ツナガリエ石橋」内に移転開館しました。1階にはメインカウンターがあり、3階と4階が図書館のフロアとなっています。

書庫も含め約15万冊を所蔵。新たにパソコンコーナーを設置するとともに、「いきいきライフコーナー」「SDGsコーナー」「子育て支援コーナー」など特色のある棚づくりに取り組みました。

開館記念行事として絵本作家のさいとうしのぶ氏の講演会を実施、また同施設内のダイバーシティセンター及び地域子育て支援拠点わたぼうしと連携した事業として「ツナガリエ石橋まつり」を開催するなど、地域住民への図書館サービスの拡充に努めました。



■令和5年度重点目標

1 電子図書館の導入検討

いつでもどこでも利用できる非来館型の電子図書館サービスの導入を検討し、市民の利便性の向上を図ります。

2 多文化サービスの充実

石橋図書館において、同じ施設内のダイバーシティセンターと連携し、外国人市民が利用しやすい図書館づくりに努めるとともに、様々な情報発信に取り組みます。

3 課題解決支援サービス

地域住民が日常生活に役立つ情報提供や各種講座の実施など、課題解決に努める。

4 インターネットサービスの充実

図書館ホームページからの情報発信を強化し、コンテンツを見直すとともに、閲覧しやすいページ作りに努めます。

5 子育て支援事業の推進

庁内各課や施設、民間事業者等と連携し、地域住民への子育て情報を提供します。